



城 崎 小中一貫教育便り

城崎小中一貫教育推進委員会
令和8年3月9日発行

城崎小・中 つないで育てる9年間

本年度よりスタートした「豊岡こうのとりプラン（第3期）」の重点テーマ「授業でつながり、地域とともにある教育」を合言葉に、城崎ならではの活動が大きく前進しました。取組の一部を紹介します。

プロジェクトC（9月19日）



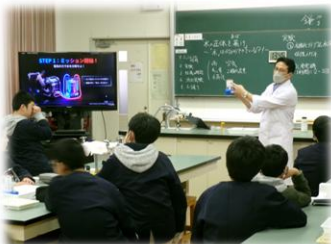
地域の方と一緒に、町内のゴミ拾いや落ち葉掃き等を行いました。自分たちの手で町をきれいにし、ふるさとを大切にすることを育みます。

小中合同運動会（10月7日）



城崎中を舞台に、小中が一体となって運動会をつくり上げました。互いの頑張りを認め合う、温かい一日となりました。

6年生プレ登校（2月27日）



6年生が中学校を訪れ、授業や部活動を体験したり、中学生から学校生活についての話を聞いたりしました。「中学校生活が楽しみ」という声が聞かれるなど、非常に実り多い時間となり、中1ギャップの解消に向けた一歩となりました。

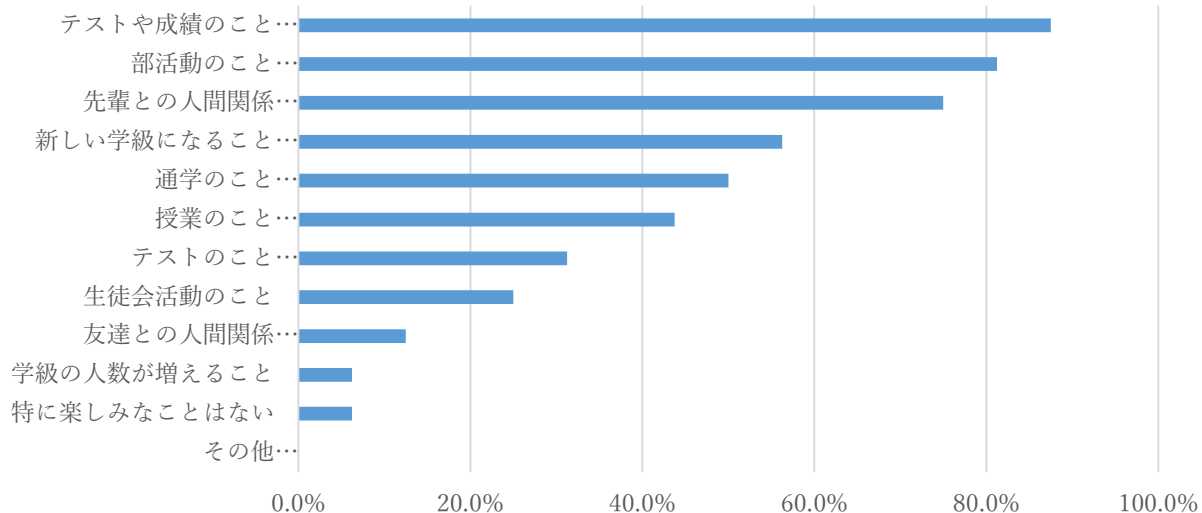
他にも、中学校の数学教師による乗り入れ授業や小中合同研修会を実施しました。乗り入れ授業は、専門的な学びに触れる貴重な機会であるとともに、中学校の先生との交流を通して児童に安心感を与えることにも繋がっています。その成果は児童の意識にも表れており、令和7年度の小学校6年生を対象に実施した、「小中一貫教育児童生徒アンケート」では、昨年度よりも中学校への不安感の軽減が見られ、期待感が高まっているという結果が出ています（令和7年度の結果は裏面に掲載しています）。

こうした一連の取組は、単なる体験に留まらず、教職員との信頼関係構築や学習・生活面の不安解消に大きく寄与しています。今後も小中が緊密に連携し、「9年間の学びの連続性」を重視した指導を強化することで、中1ギャップの解消と心理的障壁のさらなる低減を図ります。

小中一貫教育児童生徒意識アンケート（小6）

令和7年12月実施

中学校で楽しみなこと



中学校で心配なこと、不安なこと

